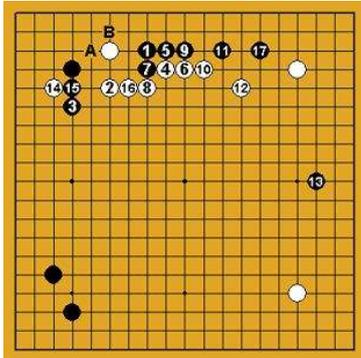
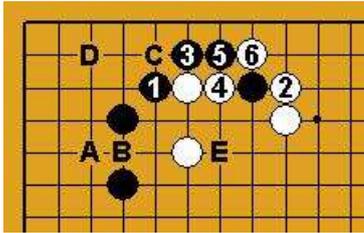


## 星に小ケイマガカリ 一間バサミ4



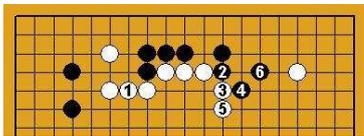
基本図 1

⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪は必然です。⑤と動き出す前に黒としてはA コスミツケ B サガリを交換したいのですが、（黒からの⑩ハネコミがより効果的になる）キキません。白は（変化図1-3）のように変化してきます。コスミツケにサガリは普通はたいていキクのですが、この場合は②オサエというベラデカの手が待っているからです。それだけではありません。せっかく黒は①から③と打っても隅は手残りだからです。例えば、白からのA ノゾキです。黒はB とツグしかなく、このあと白はどう打っても手です。B ツギでAの上をオサエるのはCキリコミがあり、Aの下をオサエるのはその左ハネツギからDで活かされます。黒のメリットとしては、この形ではEツケが残っています。



### 変化図 1 - 3

基本図 1」に較べて、黒としては採りたくない図です。



### 変化図 1 - 4

次に「基本図 1」の⑫で、①とこちらを打つのはどうか？ ここは気になるところで手入れをしたくなります。当然黒は②から⑥とこちらをハミダシてきます。この図は白が良くないのです。その理由の第一は、白は「基本図 1」の⑫とここを止めて右辺の様様化を強調しないと上辺のせっかくの厚みが何のためか分からなくなる事。第二は、黒から⑥ハネダシを来られても左上隅三々が空いていて全部は黒地ではないこと、です。このことは次回で見てください。